

日本共産党
流山深井後援会

ニュースあすなる

15年6月15日
第196号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(部内資料)

流山憲法集会

小森陽一 全国九条の会事務局長 講演

主催
九条の会流山



小森陽一氏の「90分」が短く感じるような講演内容を熱心に聞き入る参加者のみなさん（九条の会提供）

5月17日、生涯学習センターで小森陽一氏を迎えて流山憲法集会が開催されました。当日は多目的ホールが満席でした。戦争法案に対する関心の高さが伺えました。

小森氏がまず強調したことは「国際平和支援法」によっていつでも、現に戦闘が行っている現場以外なら後方支援（弾薬や武器の輸送など）を行えるようになるということ。今までは、アフガン・ニスタン戦争ではテロ対テロの状況で、米軍等の

策特別措置法を作り、アメリカやイギリスが先制攻撃したイラク戦争ではイラク特措法を作り、後方支援を行ってきたが、この法案が通ると、一々法律を作らなくても、戦闘地域にまで踏み込んで後方支援を行うことが可能になります。（だからこの法律は「海外派兵恒久法」とも呼ばれます。）

いつでも

次に強調したことは地球上のどこでも米軍等の

軍隊への後方支援を行うことが出来るようになるということ。従来の「周辺事態法」を「重要影響事態法」に変えようとしています。政府が「日本の平和と安全に資する活動」と判断すれば世界中に自衛隊を派遣できるようになり

集団的自衛権の行使

三つめは「武力攻撃事態法」によって集団的自衛権を行使することが可能になるということ。集団的自衛権の行使とは、政府が「存立危機事態」と判断すれば、日本が攻撃されているなくても他国が起す戦争に武力行使をもつて参加するということです。実際に集団的自衛権が行使された事例はほとんどは米国によるベトナム侵略戦争など、大がかりな戦争を行う際の口実として使われてきました。

6月11日

改選後、議員がかなり入れ替わり、会派構成や会派の名前も変わり（私達4人は日本共産党のままで）5月

これからの運動

最後に、小森氏は戦争立法を阻止するためにどんな運動をしていけばよいかを訴えました。1、戦争立法の危険性を知らせる。学習会を開催する。2、署名活動を行う。3、保守の人も含めて、様々な立場の人にとって運動に参加してもらう。4、自民党・公明党の国会議員を含め、すべての国会議員に戦争立法に反対してもらうよう働きかける。地元の事務所に働きかけても良い。

流山市は市民のくらし守って

6月議会

国の暴走政治とたたかうこのとき、6月18日から流山市6月議会が始まります。福祉手当削減や負担を増やす議案を出し

てくるとは、いったいどこを向いて市政運営しているのでしょうか。国は戦争をしたがり、地方は弱者いじめを進める。ここは共産党の議員の踏ん張り、市当局の態度を変えさせなければなりません。

平和都市宣言の市政を

か。改選後早々に、市民負担を増やす議案を出し

てくるとは、いったいどこを向いて市政運営しているのでしょうか。国は戦争をしたがり、地方は弱者いじめを進める。ここは共産党の議員の踏ん張り、市当局の態度を変えさせなければなりません。

怖いのは、自民党の中でも、昔は止める人がいたのに、今はいるのかいないのか分からない状態」と話していました。また、副市長も「解釈で変える

植田和子市議 6月議会報告会

詳細は次回号に掲載予定です。
☆日本共産党議員の一般質問は
6月24日（水）と25日（木）です。
植田和子議員は6月25日午後1時から
です。お問い合わせください。

こんにちは 植田和子です

6月8日 明日、全員協議会と6月議会の議案説明会があります。明後日は、市長との会派別懇談会です。
この6月議会に福祉手当削減の条例案が早速、議案で出ることがわかりました。5日、いきなりのことでした。「選挙が終わったら、もう障害者いじめか」と、この週末は最悪の気分でした。
6月11日 改選後、議員がかなり入れ替わり、会派構成や会派の名前も変わり（私達4人は日本共産党のままで）5月

ヘッドライト

蝶がいない。春先からチョウチョが飛ぶのは日本の風物詩だと思っていたが、今年はほとんど見かけない。例年庭のクちなシや柑橘類の葉が食い荒らされ、山椒もアゲハの幼虫に丸坊主にされることもしばしばだった。しかし今年は無事だ。喜んでいいの心配すべきなのか。蟬の声も江戸川台でめっきり減ったように感じる。レイチェル・カーソンという科学者の「沈黙の春」という名著がある。農薬などを使い過ぎ、虫がいなくなり、それを捕食していた鳥たちもいなくなってしまう。沈黙の春を迎えたという告発の書だ。大きな反響を呼び、薬害をなくす運動が広がった。いま日本の環境はどうなっているのか。火山噴火や地震との関連は、原発の爆発の影響はなど未解明なことばかりだ。異常気象の連続でいまアメリカなどは桁外れの洪水や竜巻の被害にあっている。先日の世界会議は成果なく終わった。領土争いなどをしていっているうちに地球そのものが壊れていく。安倍首相は切れ目のない安全保障を売りに大はしゃぎだが、技術もある日本が環境を守るためのリーダーシップを取ってこそ国際貢献ではあるまいか。